

一般質問

本会議の映像はYouTubeにアップロードしております。
一般質問のページに掲載しているQRコードから動画を視聴することができます。



にじ
畑中昌子議員
が問う！

浜の駅の賑わいを、

まちなかの産業や商店街にも

繋げなければならない!!

地域振興について

現在、浜の駅松川浦の改修工事が進行中だが、集客力や安全性への影響や増築部の活用方法はどうなのか。高齢者や身体が不自由な人でも楽しんで買物ができるように、使いやすい環境作りが必要と思う。さらに、浜の駅周辺は経済的に大きな影響を持つ一方で、その効果をまちなかへの活性化にも繋げることが重要と考え、浜の駅松川浦による地域振興について伺う。

A.Q. 浜の駅松川浦の改修状況について問う。

市は、浜の駅松川浦の増築について、運営上の課題であったトイレの増設に加え、水産物の風評払



そうま市民の会
浦島勇一 議員
が問う！

財政健全化の維持・推進を!!

第6次相馬市行財政改革 大綱について

持続可能な相馬市実現に向けた経済的な行財政改革推進のため、令和5年度に制定し、3力年計画での実施期間としている。自治体経営・運営をする上では、終わりになき永遠のテーマであり、取組・諸問題について伺う。

A.Q. 計画を推進する上での課題について問う。

市は、第6次相馬市行財政改革大綱及び実施計画に基づき行財政改革を総合的に推進していく上で、3つの点を課題と捉えている。1点目は、第



無会派
高橋利宗 議員
が問う！

魅力あるまちにするため
にも市街地活性化と
城下町の特色を!!

魅力あるまちづくり について

国で施行された歴史まちづくり法による歴史的風致維持向上計画を策定することで城下町の魅力を向上させ、更に歴史的文化と伝統の継承に役立つと考える。市の事業の認識と計画策定実施の考え、また、市街地の活性化の取組について伺う。

A.Q. 市街地の活性化にむけた取組みの現状について伺う。

市は、市街地の活性化に向けた取組として、浜の駅松川浦の来店者に、市内の他のエリアにも足を運んでいただく施策として、浜の駅松川浦、道の駅そうま、磯部水産加工施設との連携イベントを市

拭のために地物の食材を提供する調理室の設置、店舗内で購入いただいたものをその場で食べられるイートインコーナーの設置など、既設建物の東側に約468平米拡張することとし、5月より、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事等に着手しており、令和7年2月末の完成を目指している。

市としては、今後も施工業者や相馬市民市場株式会社と連携し、滞りなく増築工事が完了するように進めてまいりたいと考えている。

Q. 浜の駅松川浦の経済効果とまちなかへの流動状況について問う。

A. 市は、浜の駅松川浦を訪れる方々が、周辺地域の飲食店等へも訪れている状況について把握しており、開設以前、以降の比較のため、令和2年11月に、周辺の飲食店等へ電話による調査を実施したところ、平均で1割以上の売り上げ増、最大で4割の売り上げ増となったとの回答をいただいている。

市としては、現在も多くの方々に浜の駅松川浦へお越しいただいている状況から、同程度の波及効果が続いているものと考えている。

一方、浜の駅松川浦を訪れた方々が、まちなかの商店等をどの程度利用されているかについて、市は正確には把握していないが、道の駅そうま、磯部水産加工施設、浜の駅松川浦の3施設周遊イベントを実施しており、まちなかまで周遊していただけるように、今後とも関係団体と連携し取り組んでいく。

その他の質問

○行政システムの標準化につ

いて



↑こちらから↑

6次相馬市行財政改革大綱の趣旨及び理念を踏まえ、具体的な取り組みを各部課が主体的に実施計画に盛り込み着実に進めること。2点目は、実施計画に個別具体的な実施内容が挙げられていない場合においても、全庁各課、そして職員一人ひとりが行財政改革の意義を十分に理解して事務事業に取り組むこと。3点目は、市民に対し、市政の状況、特に財政の状況について情報公開し、幅広く理解を得ることである。

市としては、市民の理解を得ながら、市長を先頭に、市職員が一体となり、行財政改革の意識のもと、市民サービスの質的向上に努めてまいりたいと考えている。

Q. 実施計画の検証について問う。

A. 市は、実施計画に掲げた取組項目について、年度毎に各部課において実績とその効果を分析し、行政事務改善委員会が検証したうえで、市長の承認を受けて実績として確定しており、その後、市民の代表で構成される行政改革推進委員会に報告し、ご意見をいただいている。

実施計画は、毎年度見直しをしながら策定することとしており、社会情勢の変化や前年度の進捗状況等を踏まえ、各課において継続、改善、追加等の判断をしたうえで、翌年度、新たな実施計画案として作成し、行政事務改善委員会及び市長協議を行ったうえで決定している。

その他の質問

○相馬市公共施設等総合管理

計画について



↑こちらから↑

連合商栄会にも参画いただきながら取り組んでいる。

また、相馬商工会議所では、市の補助金を活用した賑わい創出事業として、「メガ得500事業」「飲んで食ってほろ酔いスタンプラリー事業」を実施している。

また、相馬の新名物「福とら」と銘打ち提供している天然とらふぐの食材をより多くの方に食べてもらうため、市は国のブルーツーリズム事業による情報発信や誘客に取り組みとともに、相馬商工会議所を中心に市内での「福とら」取扱店を増やす取組を行っている。

今後は、相馬商工会議所や市街地内の行政区長等の関係部所が一同に会する意見交換会を実施し、中心市街地活性化計画の改定を進めていく。

Q. 歴史を活かしたまちづくりについて問う。

A. 本市には旧藩政の中心地、相馬中村城跡があり、1670年に落雷で天守が焼失したが、領民を苦しめなかったために、藩主の相馬忠胤公は天守の再建を行わなかった。また、廃藩置県に伴い多くの武士が郊外へ帰農した結果、現在の市街地には残念ながら歴史的建造物等がほとんど残されていない。

市としては、これらの歴史的背景を踏まえながら、市にふさわしい「歴史まちづくり計画」とはどのようなものかを研究してまいりたいと考えており、同時に、まずは、市民一人ひとりが、先人に思いを馳せ、郷土の歴史や風土文化を正しく理解することで、郷土を愛する心をはぐくみ、広い視野で市の発展を考えることが重要であると考えている。

その他の質問

○観光産業の振興について



↑こちらから↑